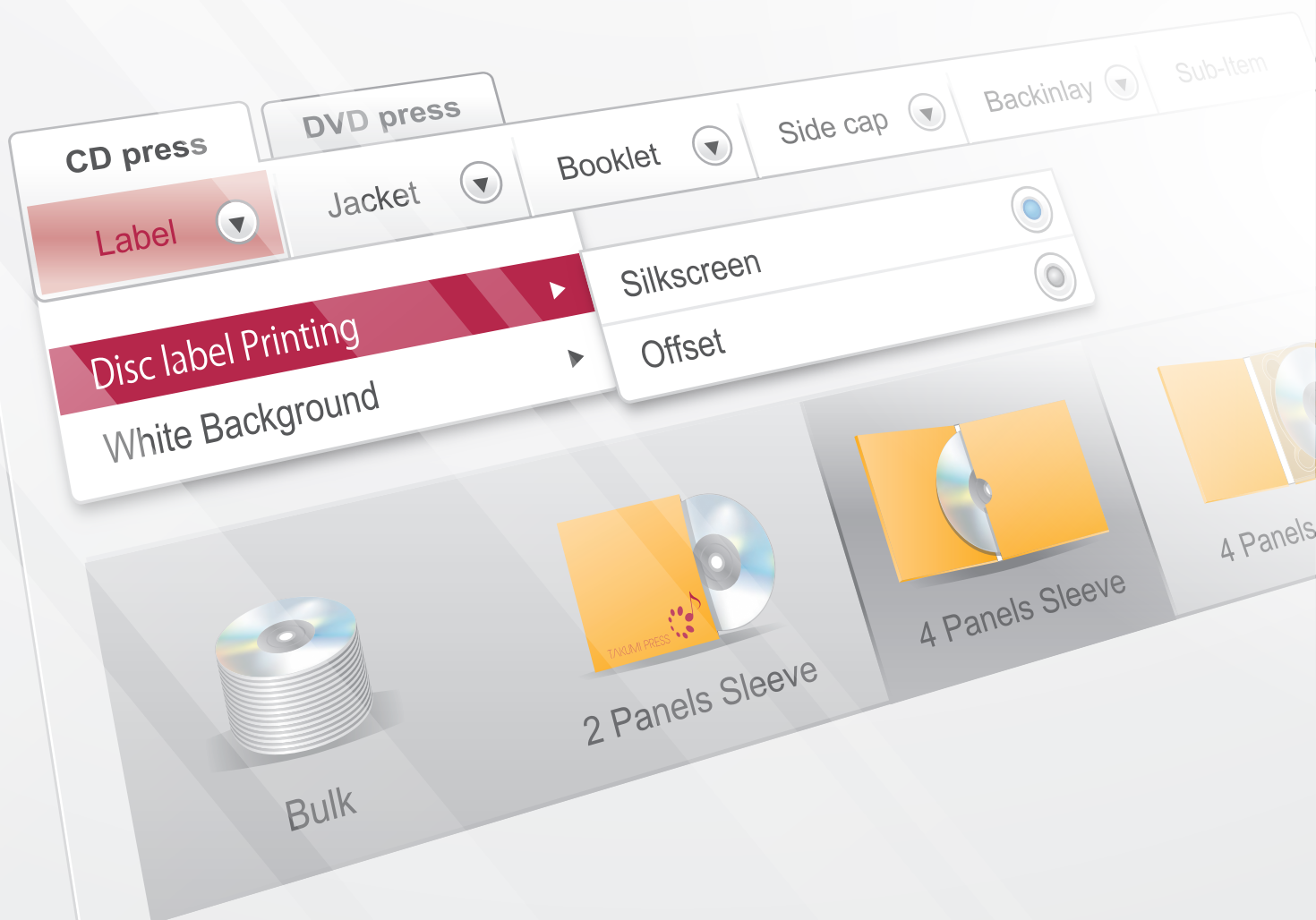


DISC & DISC PACKAGE DESIGNING REFERENCE.

デザイン作成・データ入稿手引き



デザインデータ作成について	P3～
デザイン作成には弊社テンプレートをお使いください	P3
テンプレートの共通注意点	P3
カラーモードについて	P4
文字フォントについて	P4
文字や線の大きさについて	P4
配置画像の解像度（dpi）について	P5
透明や変形など特殊効果を設定されたオブジェクトについて	P5
黒（ブラック・K）の配色について	P6
スミベタ（K100）のノセについて	P6
オーバープリントについて	P7
保存ファイルの名称について	P7
Disc label（盤面）の印刷方法について	P8～
「オフセット印刷」と「シルク印刷」の違い	P8
「白ベタ」の選択	P8
盤面の印刷範囲について	P9
label デザイン用テンプレートについて	P9
label 特殊印刷オプション「レコード溝入盤面」	P10
紙ジャケットについて	P11～
紙ジャケット 2 パネルについて	P11
紙ジャケット 2 パネル用の追加印刷物について	P11
紙ジャケット 4 パネルについて	P12
紙ジャケット 4 パネル用の追加印刷物について	P12
デジパックについて	P13～
デジパック 4 パネルについて	P13
デジパック 4 パネル用の追加印刷物について	P13
デジパック 6 パネルについて	P14
デジパック 6 パネル用の追加印刷物について	P14
プラスチックケースについて	P15～
ジュエルケースの構成について	P15
ジュエルケース専用バックインレイについて	P15
ジュエルケース専用 帯について	P16
スリムケースの構成について	P16
スリムケース専用 帯について	P17
ブックレットについて	P18～
ブックレット 2 ページ	P18
ブックレット 4 ページ	P18
ブックレット 6 ページ	P19
ブックレット 8 ページ（中綴じ）	P19
ブックレット 8 ページ（観音開き）	P20
ブックレット 8 ページ（スクエア）	P20
ブックレット 12 ページ	P21
ブックレット 16 ページ	P21
データ入稿前の必須チェック項目	P22

デザインデータ作成について

デザイン作成には弊社テンプレートをお使いください

デザインの作成およびデータの入稿は、原則として弊社支給のテンプレートを使用してください。各種テンプレートは弊社ホームページよりダウンロードすることができます。

ご希望商品・ご注文内容が、既存テンプレートに含まれてない場合は別途で支給させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

テンプレートをダウンロードできる
弊社ホームページはこちら

<http://www.takumipress.jp>

または「CD プレス匠」で検索

cd プレス匠 🔍

お問い合わせ

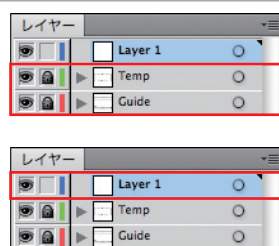
order@takumipress.jp

テンプレートの共通注意点

弊社支給のテンプレートには、3つのレイヤーが用意されています。[Guide] レイヤーにはそのテンプレートの注意事項とヌリタシの範囲を記しています。[Temp] レイヤーには、仕上がり線と文字配置範囲を記しています。※[Guide] と [Temp] はロックされています。この2つのレイヤーは編集しないでください。

デザイン作成は [Layer 1] を作業スペースとして使用してください。デザイン作成上、必要に応じてレイヤーを増やしていただいて構いません。

[Guide] と [Temp] で記されている各ガイド線は、右の図1の通りになります。各ガイド線は商品の仕上りを左右しますので厳守してください。



この2つのレイヤーはロックされています

レイヤー1にデザインを配置してください

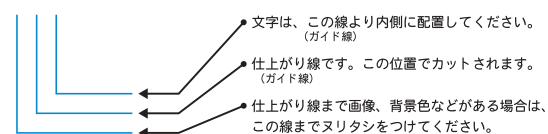


図1. 各ガイド線

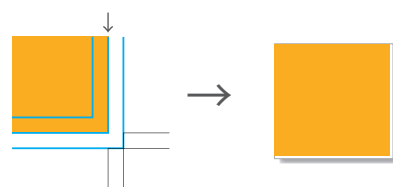
❗ ヌリタシについて

印刷・断裁加工の中では、カットラインと実際の仕上りにどうしても「ズレ」が生じてしまいます。これを想定し、予め仕上がりサイズからはみ出するように、背景（写真や色）を配置します。基本的にはヌリタシの幅は上下左右に各3mm以上設けてください。ヌリタシが作成されていないと、断裁位置が外側にズレた場合、仕上がり線に沿って紙白が残ってしまう恐れがあります。

○ ヌリタシが上下左右に各3mm確保されています



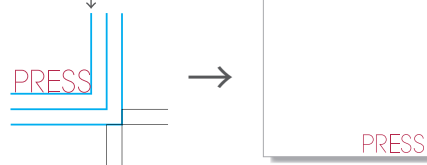
✗ ヌリタシがない場合は紙白が残ってしまう恐れがあります



❗ 文字の配置範囲について

弊社支給のテンプレートで、仕上がり線の上下左右3mmずつ内側に設けられた線は文字配置範囲を示しています。文字を配置する際にはこの線よりも内側に配置してください。ヌリタシの注意事項と同様に、断裁位置がズレってしまった場合を想定してこの範囲を設けています。文字配置範囲を超えて断裁位置近くに文字があると、断裁位置が内側にズレた場合、文字が断裁されて欠けてしまう恐れがあります。

○ 文字配置範囲が守られています



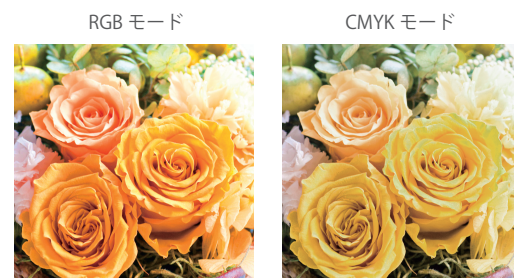
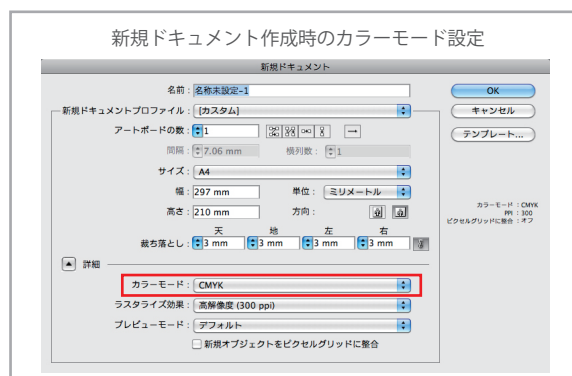
✗ 文字配置範囲からはみ出るように断裁位置近くに文字がある



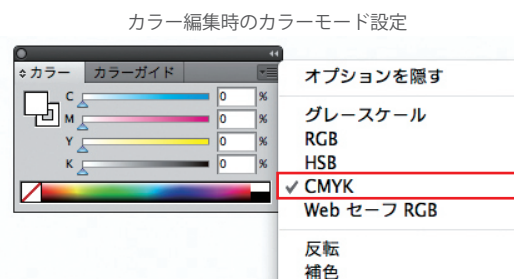
カラーモードについて

! カラーモードは CMYK で

印刷物は CMYK の 4 色で印刷されます。RGB モードで作成されたデータをそのまま入稿されますと、仕上がりの色合いが大きく異なってしまいますので、必ず CMYK モードで作成、入稿してください。



※上の写真はイメージです。色合いに極端な差をつけています。



文字フォントについて

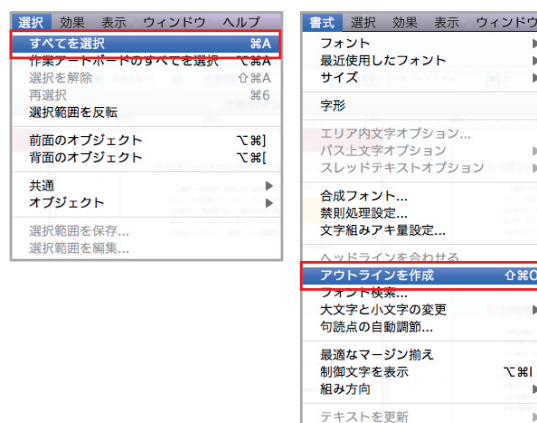
! 文字は必ずアウトライン化

入稿データは必ず、使用している文字フォントのアウトライン化を行ってください。フォントのままご入稿されますと、弊社内で正しく表示されない場合がありますためです。アウトライン化することでフォントが文字情報ではなくオブジェクト（図形）として認識されます。

アウトライン化もれを防ぐためにも、コントロールパネルから、「選択>すべて」を選択をクリックし、「書式>アウトラインを作成」をクリックしてください。

アウトライン → アウトライン

データのすべてを選択し、アウトライン化してください。



文字や線の大きさについて

使用されている文字や線があまりに細かいと、印刷時に正しく再現できない場合があります。

小さな文字は潰れてしまったり、小さすぎて文字として読めない場合があります。文字の大きさは最小で 5pt 以上を推奨します。

細い線は、かすれてしまったり全く見えなくなってしまう恐れがあります。線の太さは最小で 0.25pt 以上を推奨します。

! 罫線（線オブジェクト）に対して「塗り」のみに色をつけられ、線幅がない「ヘアライン」は印刷されず消えてしまいますのでご注意ください。

! 文字は最小 5pt 以上

12pt 原寸文字見本
10pt 原寸文字見本
8pt 原寸文字見本
6pt 原寸文字見本
5pt 原寸文字見本

! 線は最小 0.25pt 以上

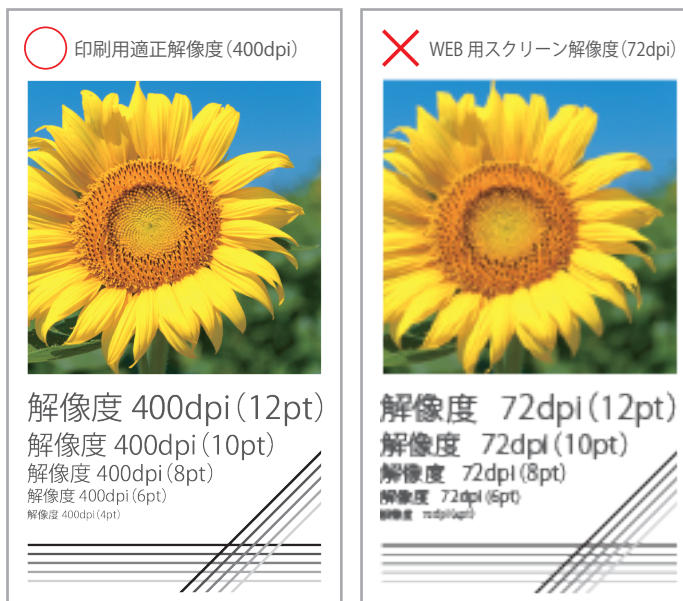
3pt
2pt
1pt
0.75pt
0.5pt
0.25pt

配置画像の解像度（dpi）について

解像度（dpi）はデジタル画像のきめ細やかさを表しています。この値は低すぎても高すぎても印刷には不向きです。印刷に使用できる画像解像度は350～400dpiを推奨します。

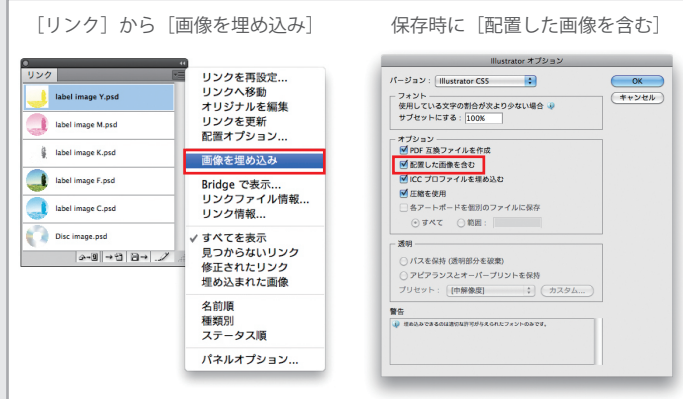
72～96dpiはスクリーン解像度とよばれ、WEB用に最適な解像度ですので、モニタ表示上はキレイに表示されますが、印刷すると荒くなってしまいます。

200dpiは印刷用として使われることもありますが、ポスターなど、あくまで離れて見ることを目的にした場合に使用されるもので、手にとる印刷物の解像度としては不十分です。



❗ 配置画像の保存について

配置画像は原則として、イラストレータファイルに埋め込んだ状態で保存してください。リンク切れやリンクファイルの喪失を防ぐためです。どうしても埋め込みが不都合な場合は、イラストレータファイルとリンクファイルを同じフォルダ内に保存し、入稿時に再度確認を行ってください。



透明や変形など特殊効果を設定されたオブジェクトについて

透明や乗算・スクリーン・オーバーレイなどといった透明度の設定、ドロップシャドウやぼかし、エンベロープやワープで変形されている、などのオブジェクトは、正常に印刷されない可能性があります。

透明度の設定をされたオブジェクトは、その下にある背景オブジェクトとともに「透明部分を分割・統合」をしてください。背景オブジェクトが画像の場合は「ラスターライズ」をしてください。

ドロップシャドウやぼかしを設定されたオブジェクトは「アピアランスを分割」または、背景オブジェクトや背景画像とともに「ラスターライズ」をしてください。

エンベロープで変形されたオブジェクトは「分割・拡張」、ワープで変形されたオブジェクトは「アピアランスを分割」をしてください。

各特殊効果オブジェクトに適切な処理設定を施してください。

オブジェクト	書式	選択	効果	表
変形				▶
重ね順				▶
グループ				⌘G
グループ解除				⇧⌘G
ロック				▶
すべてをロック解除				⇧⌘2
隠す				▶
すべてを表示				⇧⌘3
フィルター				▶
分割・拡張...				
アピアランスを分割				
透明部分を分割・統合...				
ラスターライズ...				
グラデーションメッシュを作成...				
モザイクオブジェクトを作成...				
トリムマークを作成				

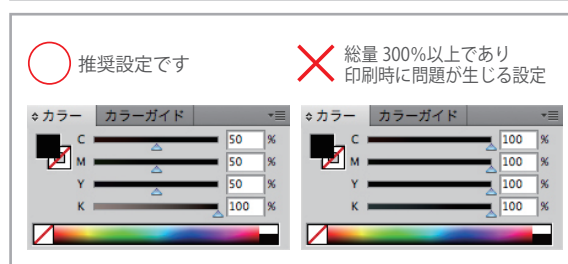
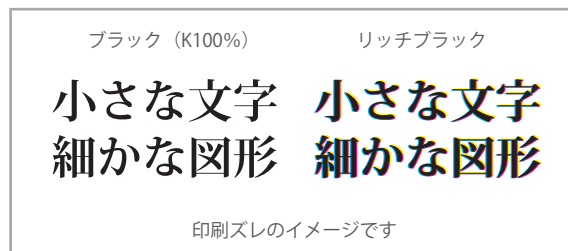
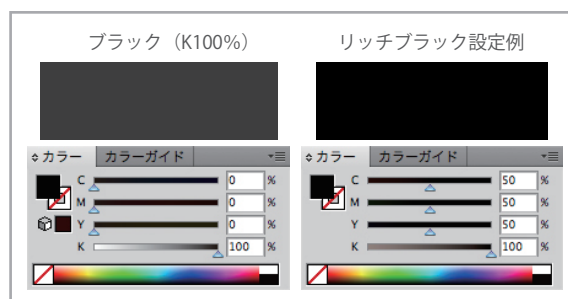
黒（ブラック・K）の配色について

ブラック（K100%）1色で表現した黒をスミベタといい、このスミベタにC・M・Yを掛け合わせて表現されたより深みのある黒をリッチブラックといいます。一般的にはリッチブラックの方が締まりのあるしっとりとした黒に仕上がるといわれますが、すべての黒をリッチブラックにすれば良いというわけではなく、用途により使い分けることが重要になります。

細かいオブジェクトにリッチブラックを使うと印刷版の微妙なズレが目立ってしまう原因ともなります。また、掛け合わせの濃度があまりに高すぎると、大量のインクが重ねられることにより乾きに時間がかかり、別の紙にインクが写ってしまう、インクが剥がれ印刷ムラができてしまうなどの問題を発生させる場合があります。

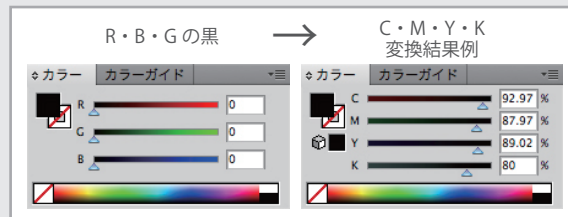
このため、リッチブラックを使われる場合の設定にはC・M・Y・Kのインクの総量が250%以下になるように設定してください。

※弊社ではリッチブラックの設定にC：50%・M：50%・Y：50%・K：100%を推奨しています。



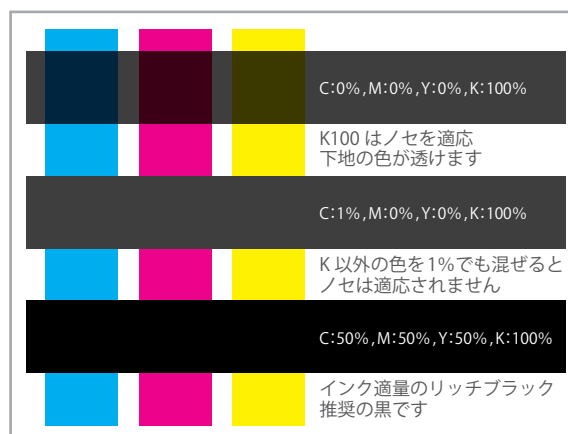
！ 意図しないリッチブラックにご注意ください

R・G・BでつくられていたデータをC・M・Y・Kに変換した場合など、R・G・Bの黒がリッチブラックに変換されてしまう場合があります。また、リッチブラックは画面上ではほとんど確認できないため、気づかないうちに意図しないオブジェクトがリッチブラックに設定されているケースもありますのでご注意ください。



スミベタ（K100）のノセについて

印刷作業において、印刷のズレ（見当ズレ）はどうしても起きてしまいます。このズレによる色と色との間に白い隙間ができるのを防ぐために、スミベタ（K100）のみに「スミノセ」という製版処理を施します。特にスミベタで色指定されることの多い小さな文字などは、かすかな隙間でも目立ってしまいますので、「スミノセ」を施すことで隙間のない綺麗な印刷を可能にしています。



！ 配置画像など「ビットマップデータ」の中のK100部分はスミノセ処理の対象にはなりません。図形など「ベクトルデータ」のみのK100が対象になりますのでご注意ください。

また、図形など「ベクトルデータ」のK100であっても、透明や特殊効果に影響されている場合はスミノセ処理の対象にはなりません。

オーバープリントについて

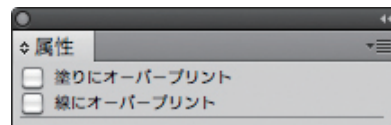
❗ オーバープリント設定はオフ

カラーに関する属性で、[塗りにオーバープリント]や[線にオーバープリント]をオンにすることによってノセ(オーバープリント)になる機能がありますが、印刷時には正しく反映されず、原則的にベクトルデータの K100 (C:0%,M:0%,Y:0%,K:100%) 以外は、印刷時にオーバープリントはかかりません。図形はあるのに印刷されない、意図しない印刷結果になるなど、オーバープリント設定はトラブルの原因になりますので、必ずオフの状態で作成してください。

データ作成段階での確認方法

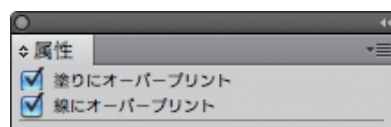
表示	ウィンドウ	ヘルプ
アウトライン		⌘Y
オーバープリントプレビュー	て⌘Y	
ピクセルプレビュー	て⌘Y	

○ 設定がオフ



正しい印刷結果イメージ

✗ 設定がオンになっている



意図しない印刷結果イメージ

保存ファイルの名称について

ファイルの名称は全て半角英数字で保存してください。日本語でファイル名を作成してしまうと文字化けが発生し、リンク切れする恐れがあります。

❗ ファイル名は半角英数字



プレス.ai



press.ai

ファイルの名称設定例

Disc label（盤面）の印刷方法について

「オフセット印刷」と「シルク印刷」の違い

● オフセット印刷

シアン/マゼンタ/イエロー/ブラックの4色を掛け合わせることで表現する印刷方法です。写真を使った構成や、細やかな色彩イラスト、グラデーション等、色の変化に富んだデザインに適しています。

印刷仕様色構成	シアン
	マゼンタ
	イエロー
	ブラック
+	白ベタ (白インク)

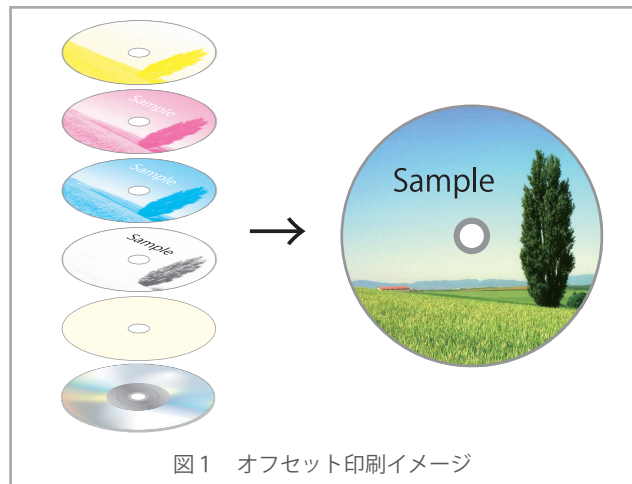


図1 オフセット印刷イメージ

● シルク印刷

絵の具で好きな色を塗るように、インク色を選択・指定して印刷します。文字や図形のための構成や線画等、輪郭がくっきりとした単色構成のデザインに適しています。

印刷仕様色構成例)	DIC : 35
	DIC : 2295
	DIC : 85
+	白ベタ (白インク)

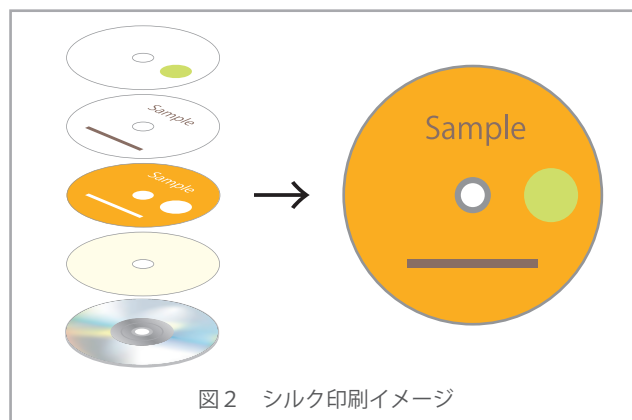


図2 シルク印刷イメージ

※シルク印刷の場合は、白ベタ (白インク) を含む4色までとなります。「PANTONE Solid Coated」又は「DIC (伝統色は除く)」よりお選びください。
※メタリック色やクリアインクなどは別途追加料金が必要となります。

「白ベタ」の選択

● 白ベタの「有」「無」「変形」

印刷に使用するインクには透過性があり、必要カラーのみの印刷だけでは、下地になる盤面の表面色（銀色）が透けて見えてしまい、発色にも影響します。

それを回避するため、ベースにホワイトのインクで印刷をかけるのが一般的です。上にかさねて印刷する色の発色がよくなり、指定したイメージ色により近い仕上がりになります。(図1、図2参照)

特殊効果として、あえてホワイトを印刷せず、透明感のある透かし効果を活かすこともできます。(図3参照) 明るい色を使用しており、白ベタ無しを選択されますと、色が濁る場合がありますのでご注意ください。

白ベタの印刷の形は、基本的には盤面上の印刷範囲全体にインクをしめますが、このベースそのものを变形し特徴を持たせることで、特殊効果を得る方法もあります。

盤面の色や透かしの効果を活かしながら部分的に発色をよくしたり、白を基調としたデザイン構成に効果的です。(図4参照)



図3 白ベタ有り

白ベタ無し

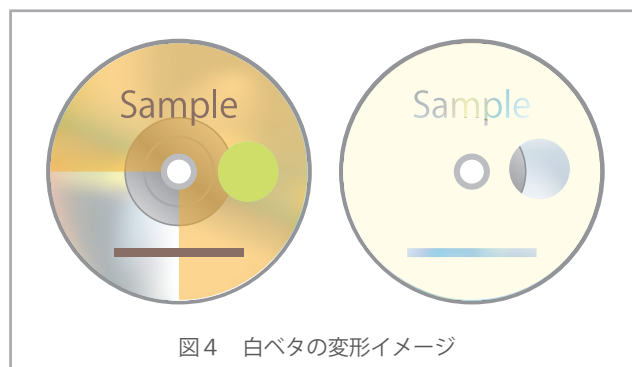


図4 白ベタの変形イメージ

盤面の印刷範囲について

盤面上の印刷には印刷可能範囲があります。
デザインを施す際はこの範囲に配置してください。
ディスクサイズ内径 15mm～外径 120mm に対し、
内径 23mm～外径 116mm までの範囲が印刷可能範囲となります。(図 1)

盤面内径 46mm には「スパッタ」と呼ばれる部分があり、この範囲は銀盤の色に違いがあります。(図 2)
上にデザイン印刷を施す際、その色差に影響を受けることが考えられますので、「白ベタを印刷しない」、「抜きや透かし効果を得たい」等の場合は特にご注意ください。

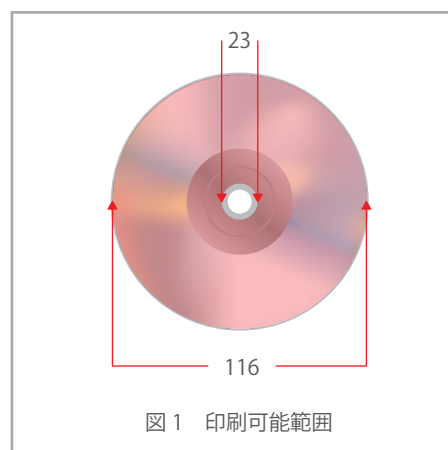


図 1 印刷可能範囲

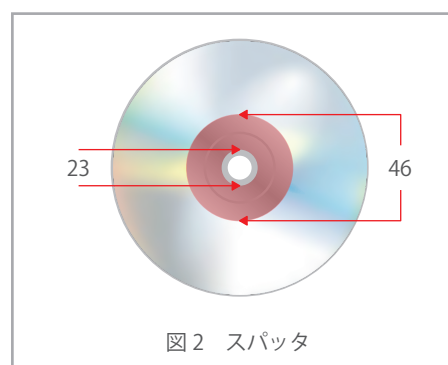


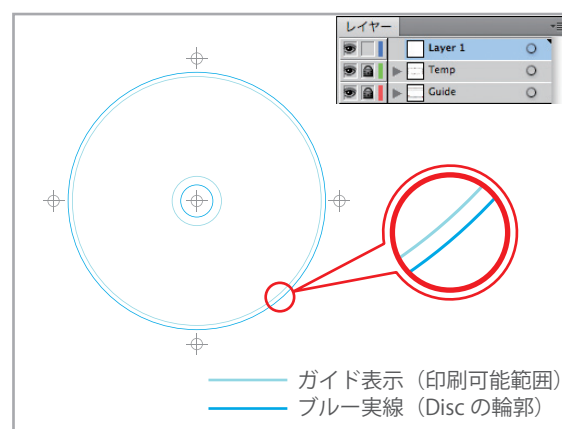
図 2 スパッタ

label デザイン用テンプレートについて

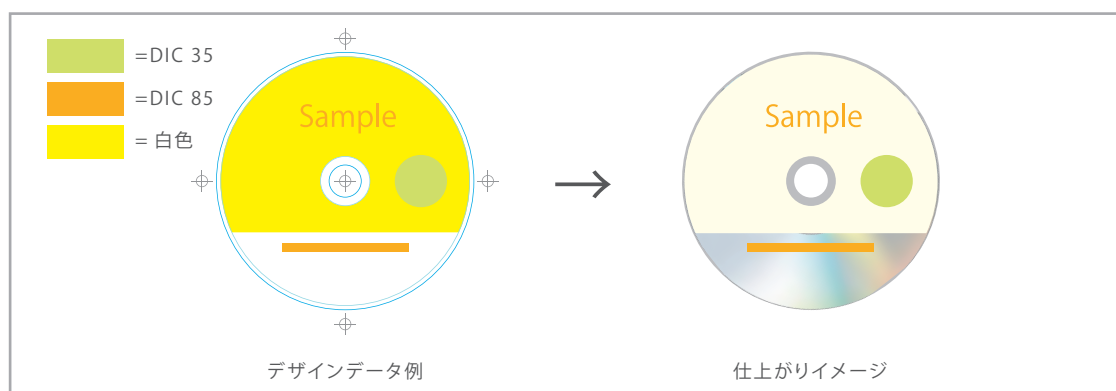
弊社支給のテンプレート上には、「Temp」レイヤーが
設けてあり、ディスクの内径・外径の輪郭を【ブルー
の実線】、印刷可能範囲を【ガイド表示】にて定義して
います。これを基準にデザインを配置してください。

デザインを配置する際には「Layer 1」を作業ス
ペースとして使用してください。作業上、必要に応じて
レイヤーを増やしていただいても構いません。

データ上で「白」になっている部分は「透明」扱い
になり印刷されません。



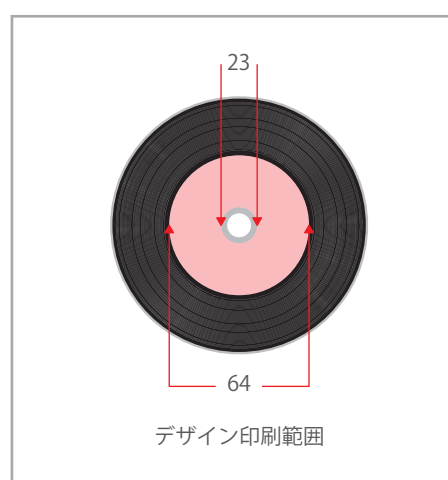
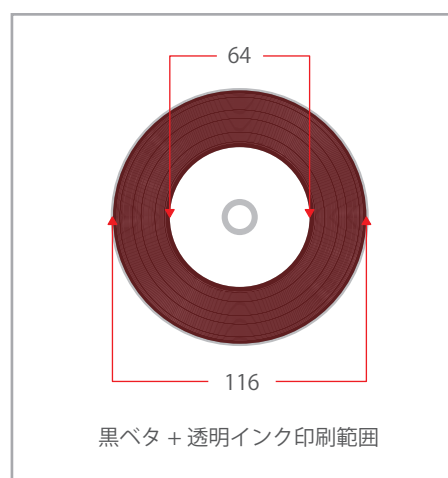
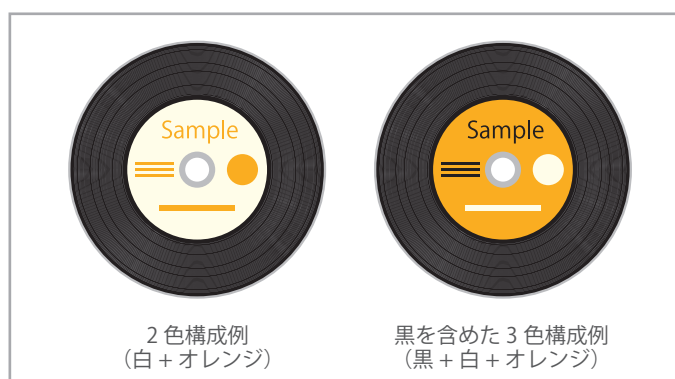
白ベタの変形など、白インクで印刷したいオブジェクトは、他のデザインオブジェクトに使用していない
色を仮色として塗り、それが「白色」であることをデータ上で明記してください。



label 特殊印刷オプション「レコード溝入盤面」

ディスクの盤面をレコード盤調に仕上げる特殊印刷をご紹介します。内径 64mm～外径 116mm の範囲に黒のベタを印刷し、その上から透明インクで溝部分を印刷することで、立体的な反射率の違う溝ラインが生まれ、レコード盤のような模様を表現します。

レコード溝入盤面のデザイン作成上の制限として、デザイン印刷範囲は、内径 23mm～64mm となります。また、オフセット印刷の場合はフルカラーで印刷されますが、シルク印刷の場合は黒を除いた 2 色まで、つまり、2 色構成ないし黒を含めた 3 色構成でデザインをしてください。明るい色を使用し、白ベタ無しを選択されますと色が濁る場合がありますので、黒と白を含めた 3 色（黒 + 白 + 1 色）で構成してください。



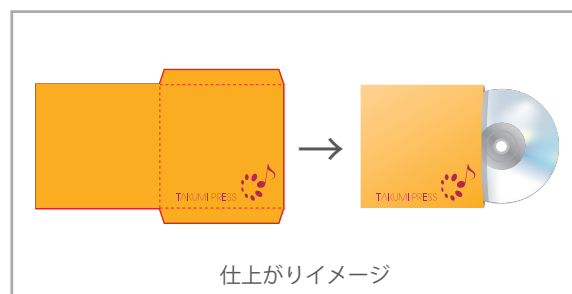
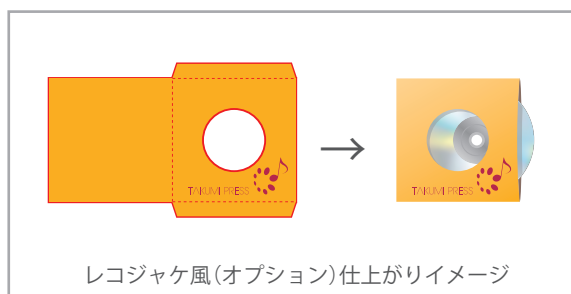
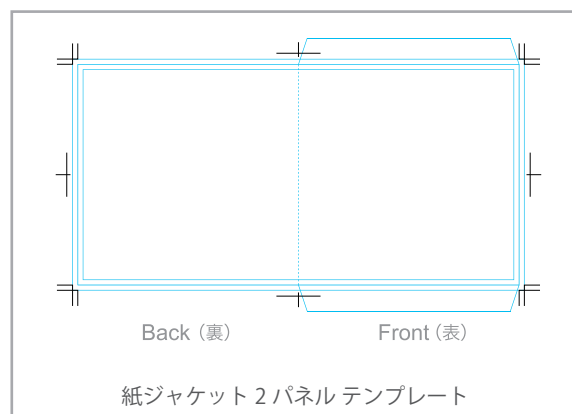
紙ジャケットについて

紙ジャケット 2 パネルについて

紙ジャケット 2 パネルは表裏の 2 面で構成されるスリーブタイプのジャケットです。面と面の間がディスクを入れるスリーブポケットになります。

通常、スリーブポケットは右向き、つまり右側からディスクを取り出す形状ですが、デザインの配置によっては、左向きや上向きにもすることができます。

追加オプションメニューとして表紙面に 64×64mm の円状に穴をあけたレコジャケ風紙ジャケットもご紹介します。



紙ジャケット 2 パネル用の追加印刷物について

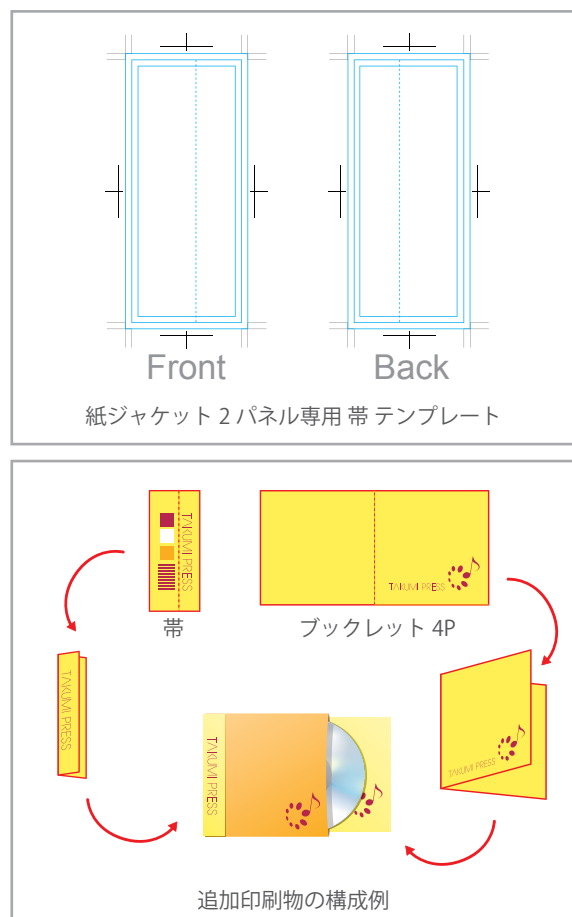
紙ジャケット 2 パネルのオプションとして、ブックレットと専用の帯を追加することができます。

専用の帯は中折式二つ折りで紙ジャケット 2 パネルの一端を挟み込むように組立えます。Front 面は折線から右の面が紙ジャケット表面に、左の面が裏面に配置されます。Back 面は紙ジャケットと接する面になり、商品が開封されるまで見ることはできませんが、こちらの面にも印刷を施すことができます。

この紙ジャケット 2 パネル専用の帯は折線が 1 本で背表紙になるマチ部分がありませんのでご注意ください。

ブックレットはディスクを入れるスリーブポケットに収納されます。このスリーブポケットに収納できるブックレットは 12 ページまでです。

※各種ブックレットにつきましては、後述ページ「ブックレットについて」を参照してください。

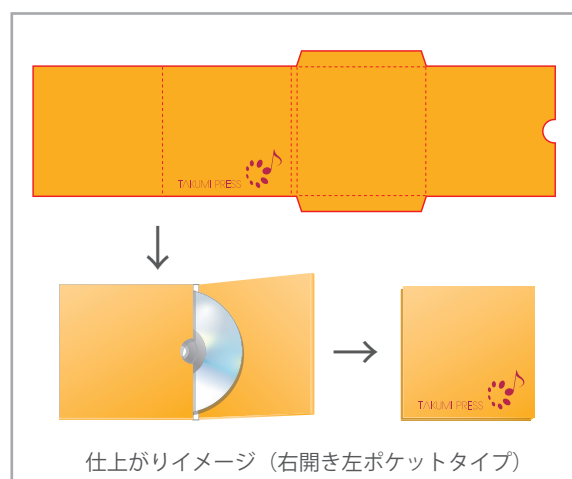
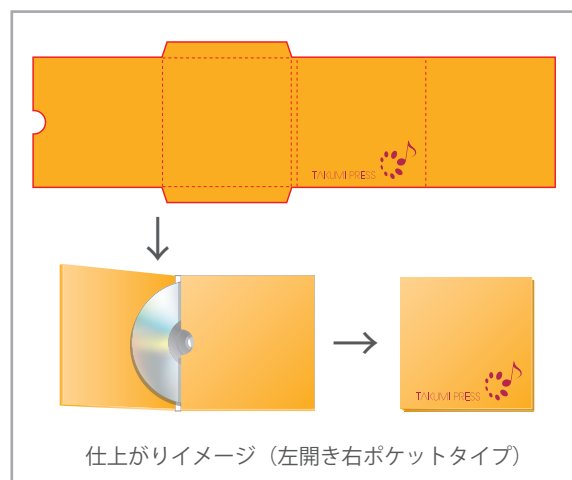
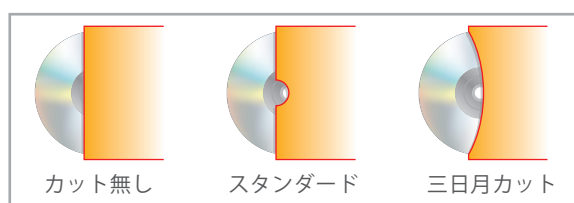
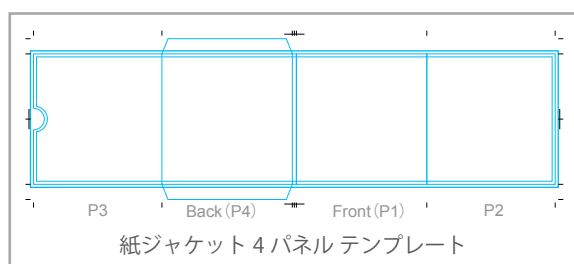


紙ジャケット 4 パネルについて

紙ジャケット 4 パネルは表裏の 2 面と内面の見開き 2 面で構成されるスリーブタイプのジャケットです。左開きで内面右側がポケットになるタイプが主流ですが、それを反転させた右開きで内面左側がポケットになるタイプにも対応できます。

内面の片面（裏面になる面の内側面）がスリーブポケットになります。ポケットの Disc 取出口の形状は 3 種類からお選びいただけます。

表面と裏面との間には幅 4 mm の背表紙になる面があります。弊社支給のテンプレート上にも表示しておりますので、デザインの際にご注意ください。



紙ジャケット 4 パネル用の追加印刷物について

紙ジャケット 4 パネルのオプションとして、ブックレットと専用の帯を追加することができます。

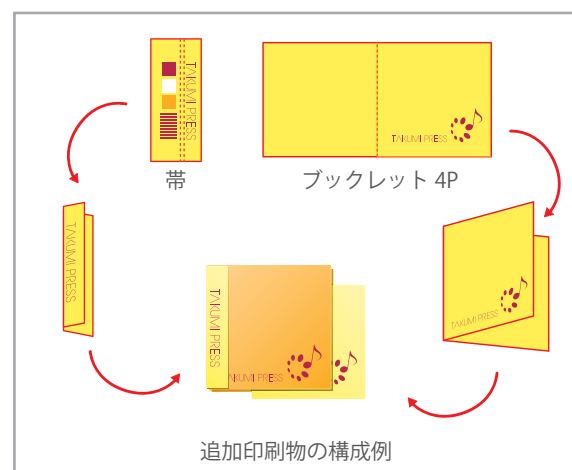
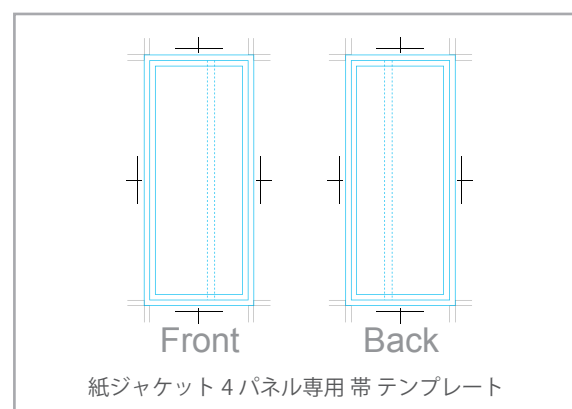
専用の帯は折線が 2 本の中折りで紙ジャケット 4 パネルの一边を挟み込むように組立てます。

Front 面は折線から右の面が紙ジャケット表面に、左の面が裏面に配置されます。Back 面は紙ジャケットと接する面になり、商品が開封されるまで見ることができませんが、こちらの面にも印刷を施すことができます。

この紙ジャケット 4 パネル専用の帯は折線が 2 本で、マチ部分があります。背表紙としてデザインしてください。

ブックレットは紙ジャケットで挟むように収納、もしくはディスクを入れるスリーブポケットに収納されます。このブックレットは 12 ページまでを推奨します。16 ページをご希望の場合はスリーブポケットには入りませんのでご注意ください。

※各種ブックレットにつきましては、後述ページ「ブックレットについて」を参照してください。

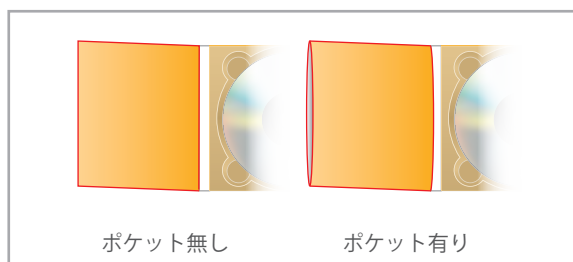
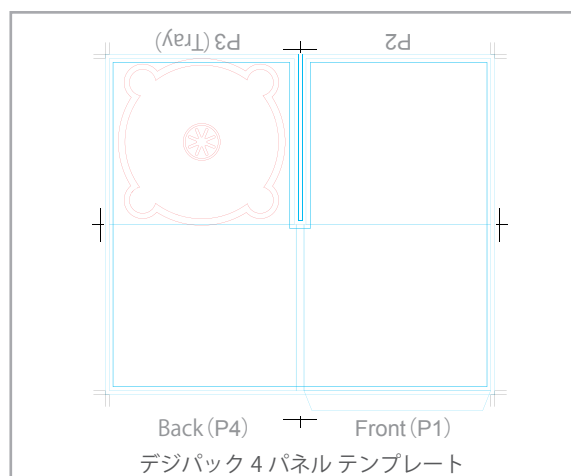


デジパックについて

デジパック 4 パネルについて

デジパック 4 パネルは紙素材の表裏の 2 面とその内面の見開き 2 面で構成され、内面の片側にディスクをホールドするプラスチックトレイが配置されます。トレイの色は透明、黒、白から選びいただけます。トレイのない面がスリーブポケットになり、ブックレット等を入れることができます。このポケットは有り・無しをお選びいただけます。

弊社支給のテンプレートでは、「Guide」レイヤーにてトレイの配置位置を定義しております。デザインの際に参照してください。



デジパック 4 パネル用の追加印刷物について

デジパック 4 パネルのオプションとして、ブックレットと専用の帯を追加することができます。

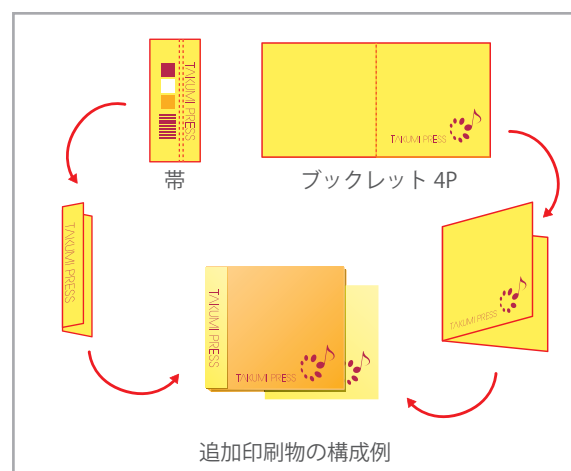
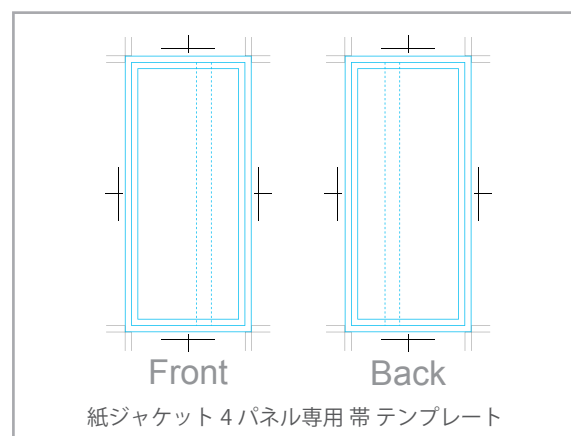
専用の帯は折線が 2 本の中折式でデジパック 4 パネルの一边を挟み込むように組立てます。

Front 面は折線から右の面がデジパックの表面に、左の面が裏面に配置されます。back 面はデジパック本体と接する面になり、商品が開封されるまで見ることができませんが、こちらの面にも印刷を施すことができます。

このデジパック 4 パネル専用の帯は折線が 2 本で、マチ部分があります。背表紙としてデザインしてください。

デジパック本体がポケット無しの場合、ブックレットはデジパック本体で挟むように収納されます。ポケット有りの場合はポケットに収納されます。ポケットに収納できるのは 12 ページまでで、16 ページは入りませんのでご注意ください。

※各種ブックレットにつきましては、後述ページ「ブックレットについて」を参照してください。

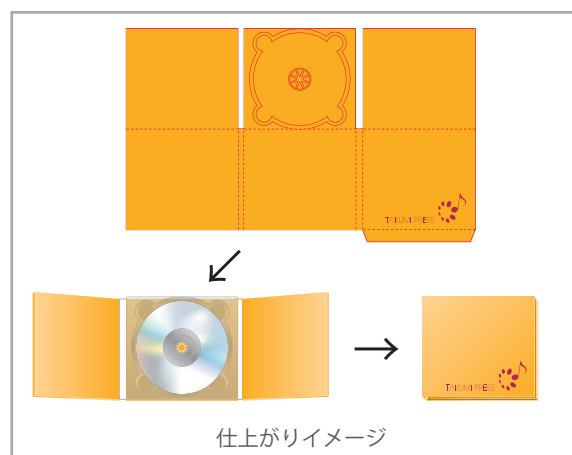
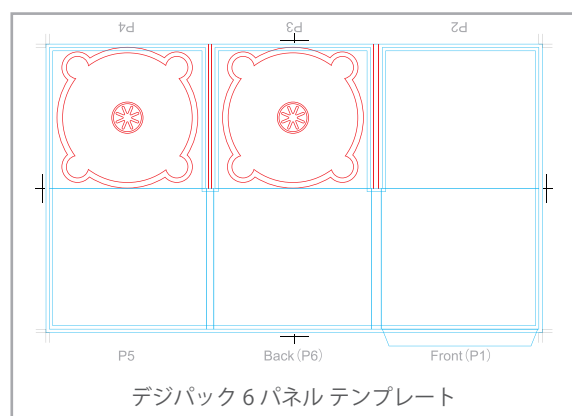
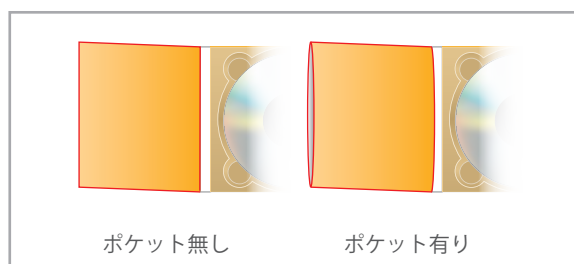


デジパック 6 パネルについて

デジパック 6 パネルは紙素材の外面の 3 面とその内面の見開き 3 面で構成され、内面の 1 面にディスクをホールドするプラスチックトレイが配置されます。トレイの色は透明、黒、白からお選びいただけます。向かって左のトレイのない面がスリーブポケットになり、ブックレット等を入れることができます。ポケットは有り・無しをお選びいただけます。

プラスチックトレイの配置位置は、内面の中央か、向かって右面かをお選びいただけます。弊社支給のテンプレートでは、「Guide」レイヤーにてトレイの配置位置を 2 ヶ所定義しております。デザインの際に参照してください。

デジパック 6 パネルは背表紙が 2 ヶ所になりますのでご注意ください。



紙ジャケット 6 パネル用の追加印刷物について

デジパック 6 パネルのオプションとして、ブックレットと専用の帯を追加することができます。

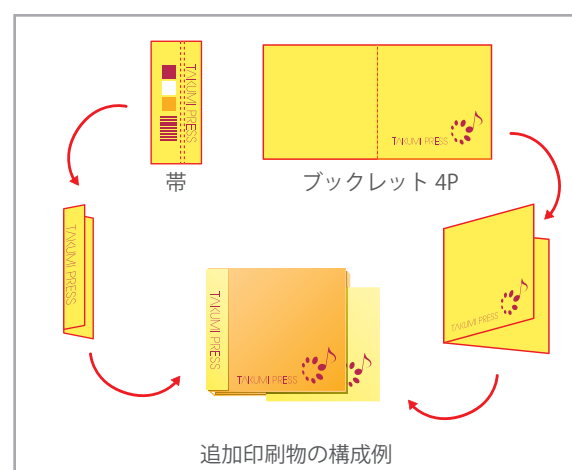
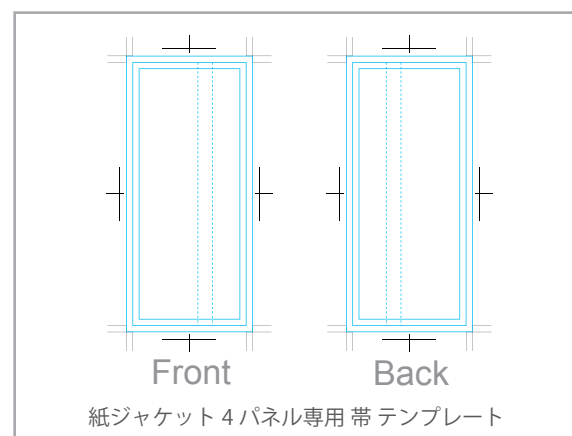
専用の帯は折線が 2 本の中折式でデジパック 6 パネルの一边を挟み込むように組立てます。

Front 面は折線から右の面がデジパックの表面に、左の面が裏面に配置されます。Back 面はデジパック本体と接する面になり、商品が開封されるまで見ることができませんが、こちらの面にも印刷を施すことができます。

このデジパック 6 パネル専用の帯は折線が 2 本で、マチ部分があります。背表紙としてデザインしてください。

デジパック本体がポケット無しの場合、ブックレットはデジパック本体で挟むように収納されます。ポケット有りの場合はポケットに収納されます。ポケットに収納できるのは 12 ページまでで、16 ページは入りませんのでご注意ください。

※各種ブックレットにつきましては、後述ページ「ブックレットについて」を参照してください。

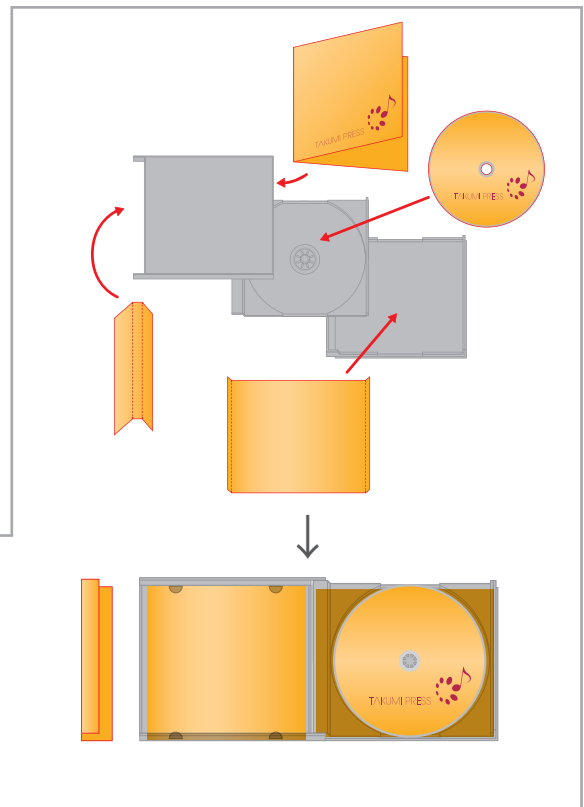


プラスチックケースについて

ジュエルケースの構成について

ジュエルケースは一般的に最も使われている厚さ10mmのプラスチックケースです。

各デザイン印刷物はベースにバックインレイ、トレイにディスク、フタにブックレットが収納されます。トレイは透明、黒、白からお選びいただけます。フタのパーツに納める印刷物の表面が組立包装後のジャケットになります。組立包装後の裏側面はベースに収めるバックインレイになりますが、このバックインレイはディスクトレイの背景面を兼ねています（※トレイが黒、白の場合は見えません）。



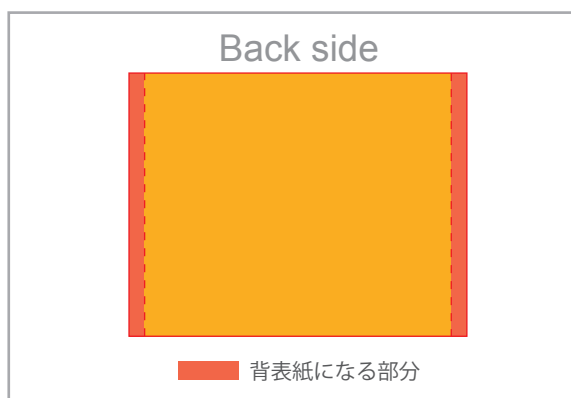
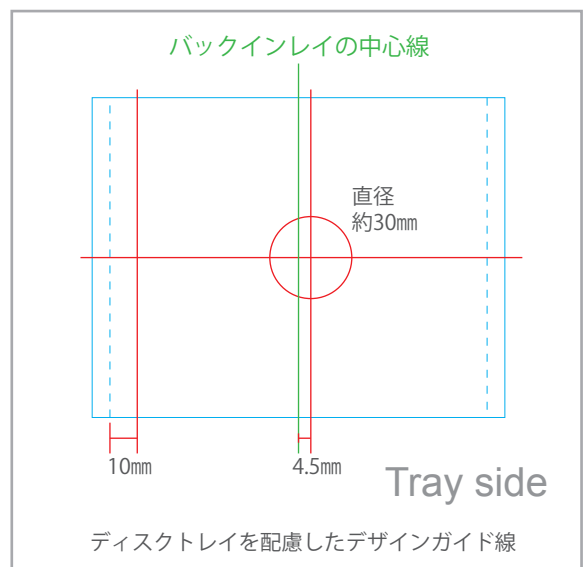
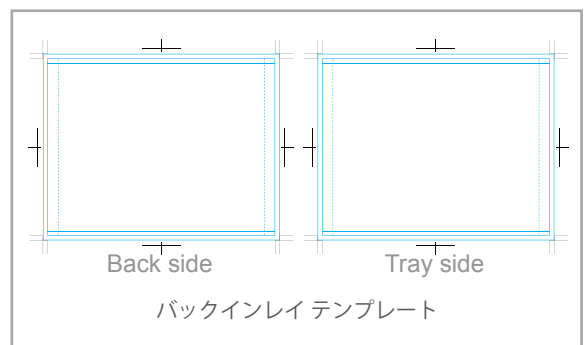
ジュエルケース専用バックインレイについて

ジュエルケースのベースに収めるバックインレイは組立包装後の裏側面であるとともにディスクトレイの背景面になります。

「Back side」の左右両サイドの折り返しは、背表紙としてケースの横側から見える部分になります。

「Tray side」はディスクトレイとディスクが上に配置されることを配慮してデザインする必要があります。バックインレイの中心がディスクトレイの中心ではないことにご注意ください。

バックインレイのデザインガイド線はあくまでも目安になります。カットのズレがあった場合には、多少配置のズレが生じますのでご了承ください。

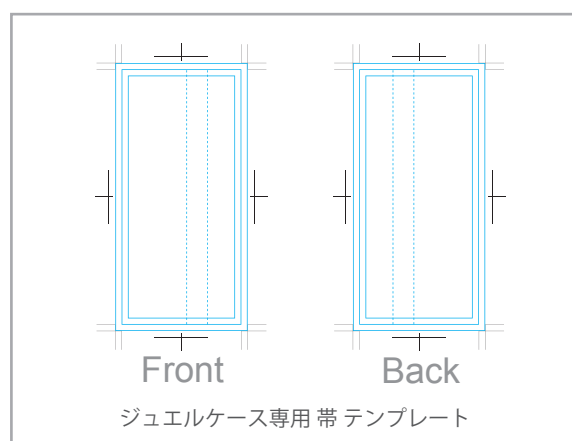


ジュエルケース専用 帯について

ジュエルケース専用の帯は折線が2本の中折式でジュエルケースの一边を挟み込むように組立てます。

Front 面は折線から右の面がジュエルケースの表面に、左の面が裏面に配置されます。Back 面はジュエルケース本体と接する面になり、商品が開封されるまで見ることはできませんが、こちらの面にも印刷を施すことができます。

このジュエルケース専用の帯は折線が2本で、マチ部分があります。背表紙としてデザインしてください。



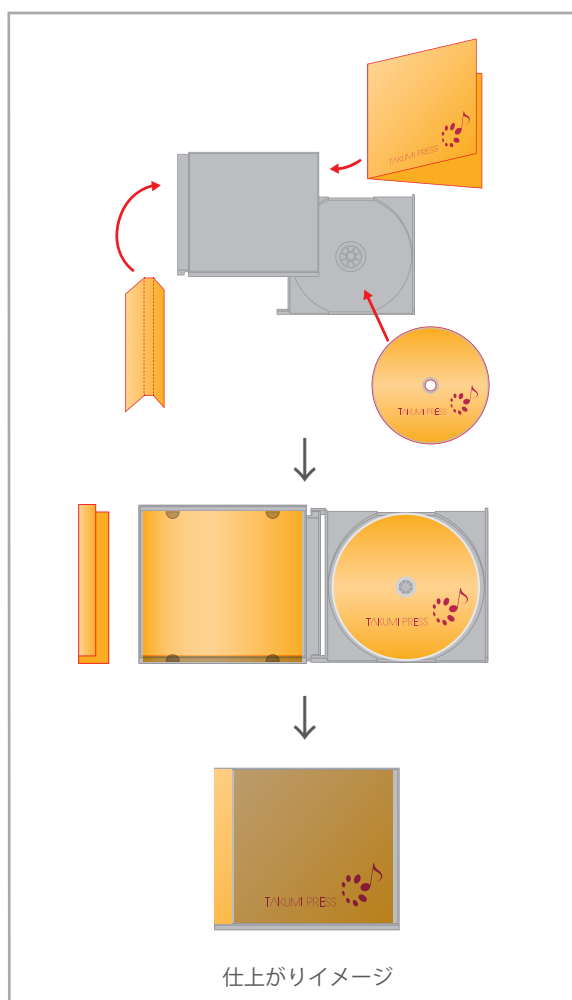
※各種ブックレットにつきましては、後述ページ「ブックレットについて」をご参照ください。

スリムケースの構成について

スリムケースは厚さ 5mm のプラスチックケースです。

各デザイン印刷物は、トレイにディスク、フタにブックレットが収納されます。トレイは透明、黒、白からお選びいただけます。フタのパーツに納める印刷物の表面が組立包装後のジャケットになります。

トレイが透明の場合、組立包装後の裏側面からディスクを確認することができます。これを利用してディスクをトレイに裏表逆さまに収納することで、裏側面にディスクの印刷面を向ける配置オプションもご選択いただけます。

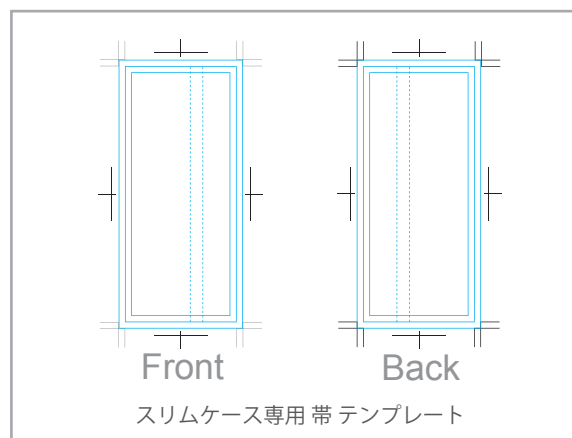


スリムケース専用 帯について

スリムケース専用の帯は折線が2本の中折式でスリムケースの一边を挟み込むように組立てます。

Front 面は折線から右の面がスリムケースの表面に、左の面が裏面に配置されます。Back 面はスリムケース本体と接する面になり、商品が開封されるまで見ることはできませんが、こちらの面にも印刷を施すことができます。

このスリムケース専用の帯は折線が2本で、マチ部分があります。背表紙としてデザインしてください。



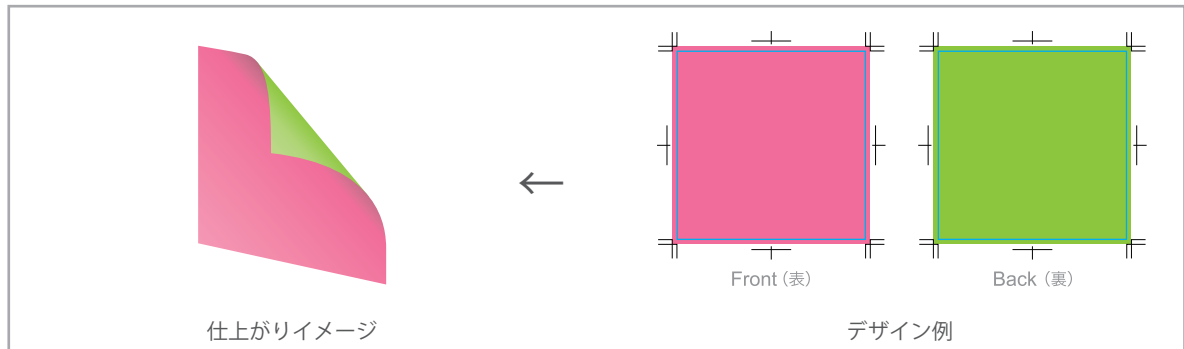
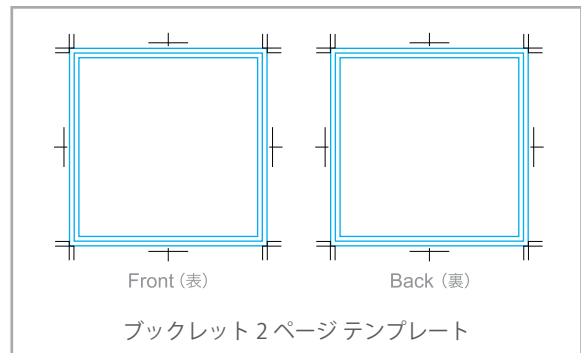
※各種ブックレットにつきましては、後述ページ「ブックレットについて」をご参照ください。

ブックレットについて

ブックレット 2 ページ

ブックレット 2 ページは 1 枚の紙の表裏のページで構成される 1 枚ペラのブックレットです。

弊社テンプレート上には Front（表）と Back（裏）を分けて表示しておりますので、それぞれのページをデザインしてください。

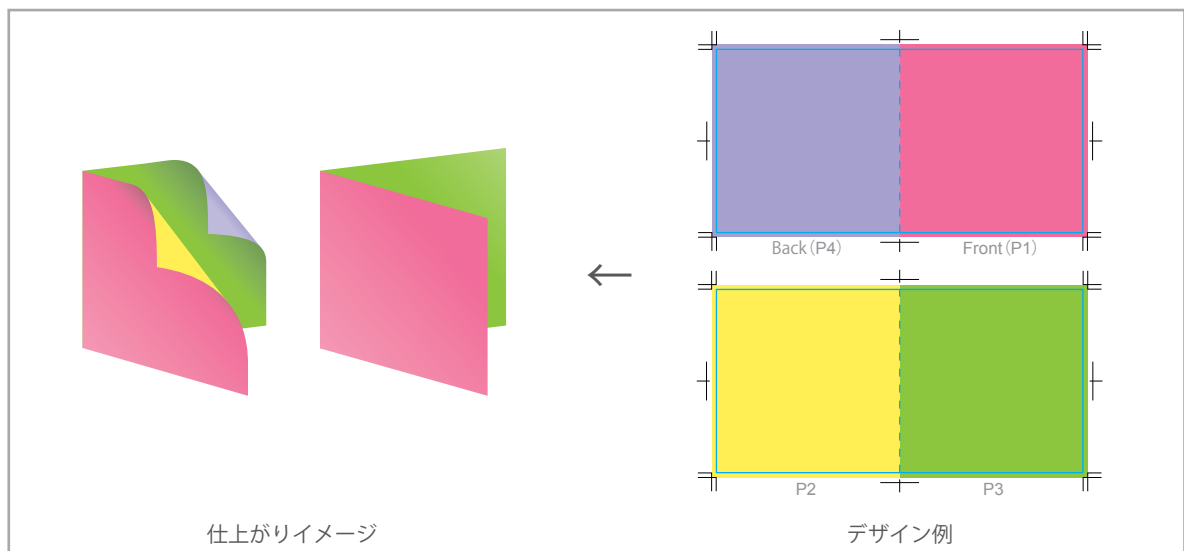
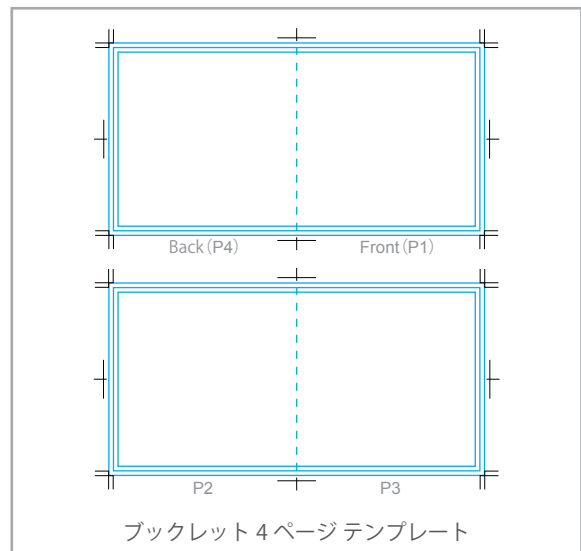


ブックレット 4 ページ

ブックレット 4 ページは 2 ページ分の大きさの長方形の紙 1 枚を二つ折りにしたブックレットです。

Back (P4) - Front (P1) が対となり、その裏面が P2 - P3 になります。

弊社テンプレート上には、対となる P4 - P1、P2 - P3、に分けて表示しておりますので、それぞれのページをデザインしてください。

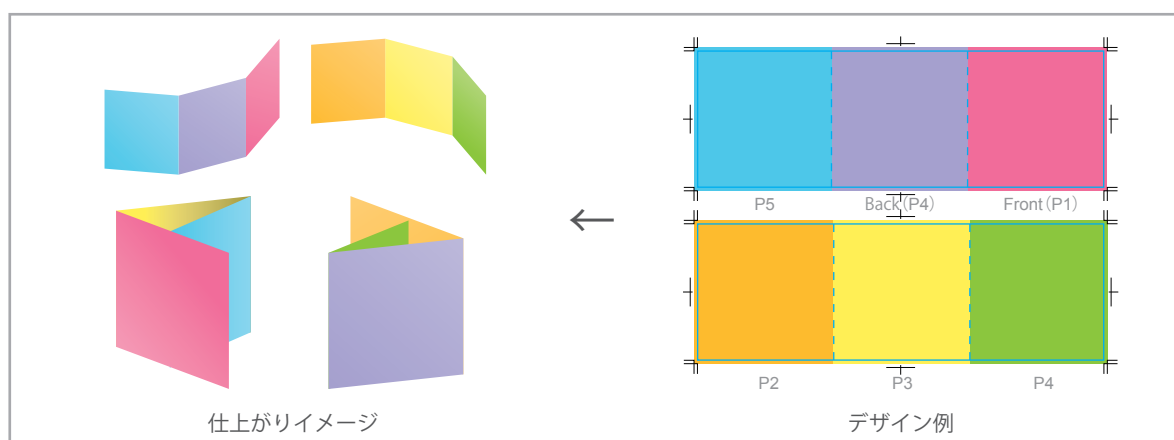
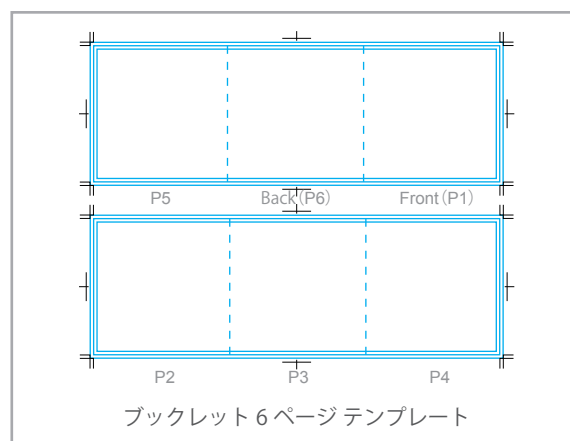


ブックレット 6 ページ

ブックレット 6 ページは 3 ページ分の大きさの長方形の紙を三つ折りにしたブックレットです。

P5 — Back (P6) — Front (P1) が対となり、その裏面が P2 — P3 — P4 になります。

弊社テンプレート上には、対となる P5 — P6 — P1、P2 — P3 — P4、に分けて表示しておりますので、それぞれのページをデザインしてください。

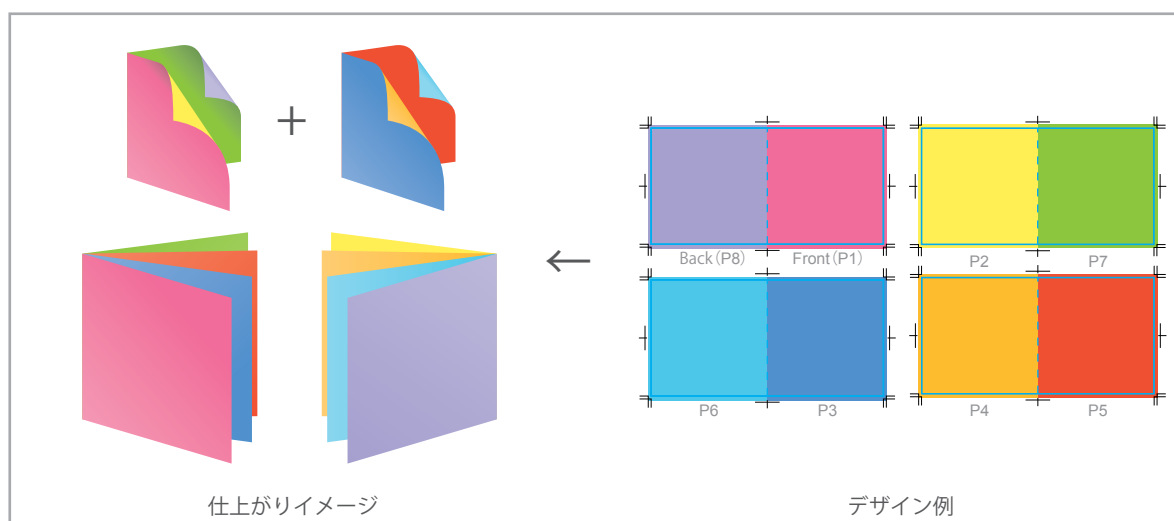
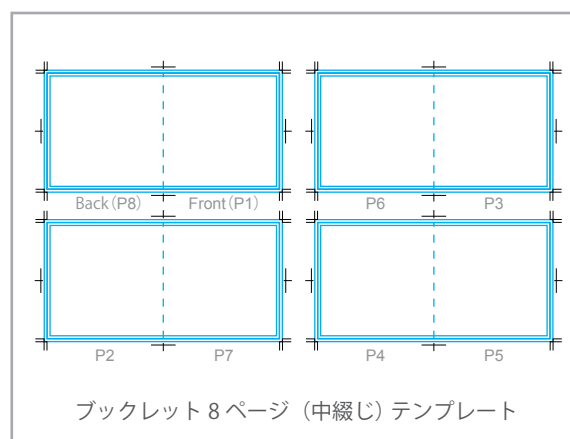


ブックレット 8 ページ (中綴じ)

ブックレット 8 ページ (中綴じ) は 2 ページ分の大きさの長方形の紙を二つ折りにしたものを、2 枚中綴じしたブックレットです。先述のブックレット 4 ページ 2 枚分を中綴じした仕様です。

1 枚目は Back (P8) — Front (P1) が対となり、その裏面が P2 — P7 になります。2 枚目は P6 — P3 が対となり、その裏面が P4 — P5 になります。

弊社テンプレート上には、対となる P8 — P1 と P2 — P7、P6 — P3 と P4 — P5 に分けて表示しておりますので、それぞれのページをデザインしてください。

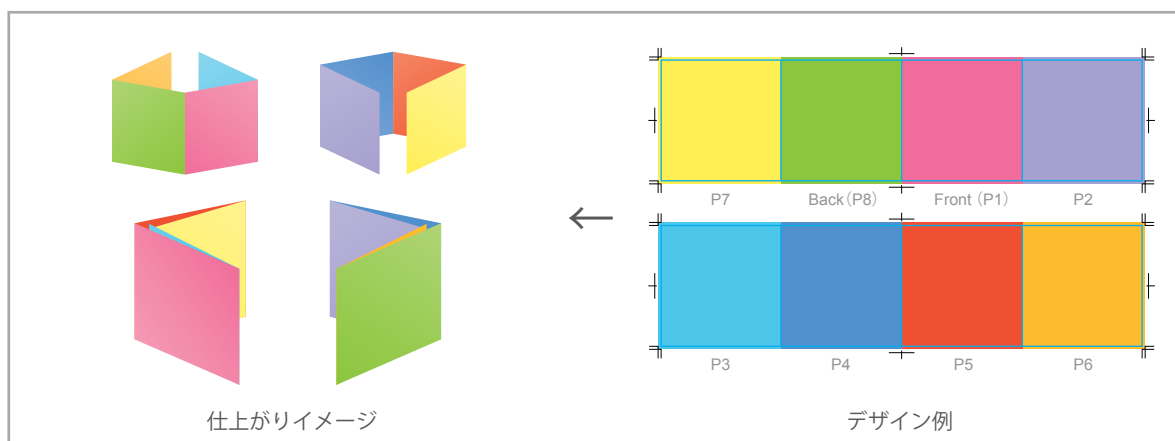
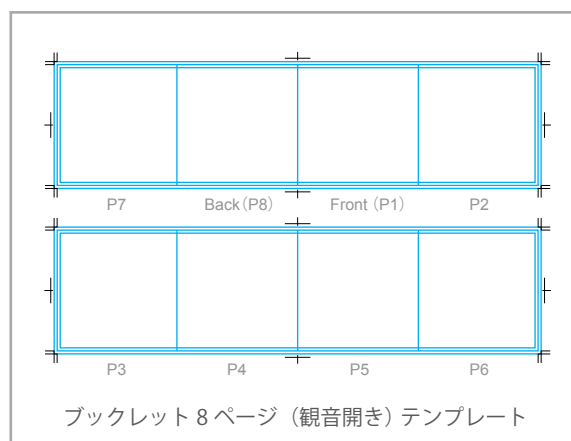


ブックレット 8 ページ（観音開き）

ブックレット 8 ページ（観音開き）は 4 ページ分の大きさの長方形の紙を四つ折りにしたブックレットです。

P7 — Back (P8) — Front (P1) — P2 が対となり、その裏面が P3 — P4 — P5 — P6 になります。

弊社テンプレート上には、対となる P5 — P6 — P1、P2 — P3 — P4、に分けて表示しておりますので、それぞれのページをデザインしてください。

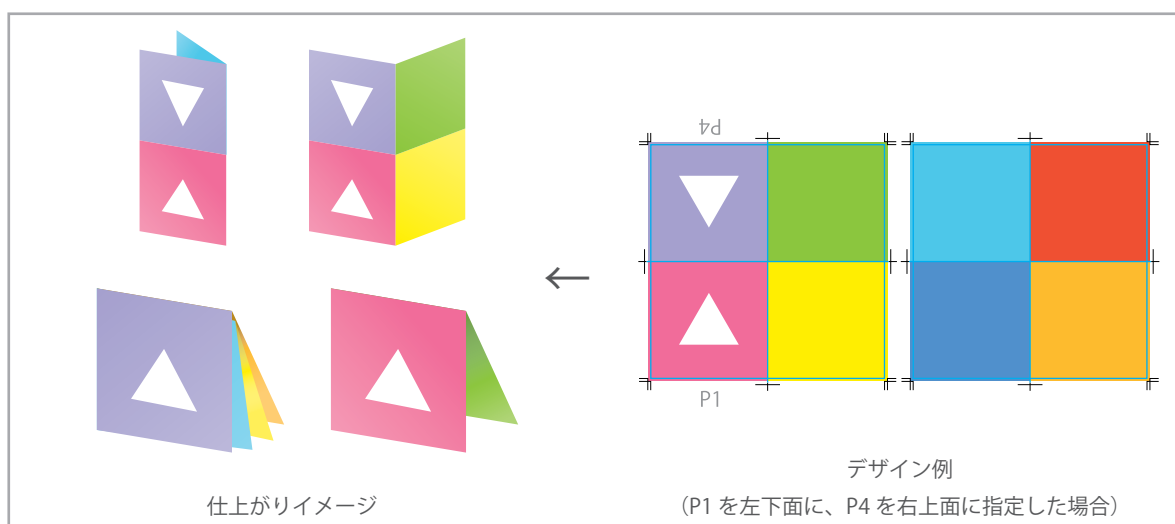
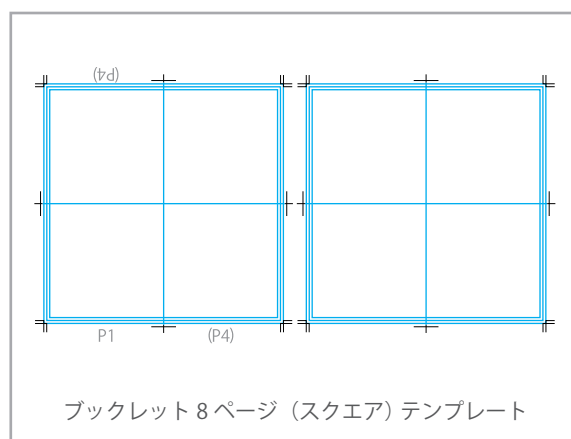


ブックレット 8 ページ（スクエア）

ブックレット 8 ページは（スクエア）は 4 ページ分の大きさの正方形の紙を四つ折りにしたブックレットです。

折りたたんだ時に、どの面が P1（Front）と P4（Back）になるかをご指定ください。

弊社テンプレート上には、ページ指定例を記入しております。P1 を左下面に配置した場合、P4 は右下面もしくは左上面になります。左上面を P4 にした場合は、折りたたんだ時に P1 とは上下が逆さになりますのでご注意ください。

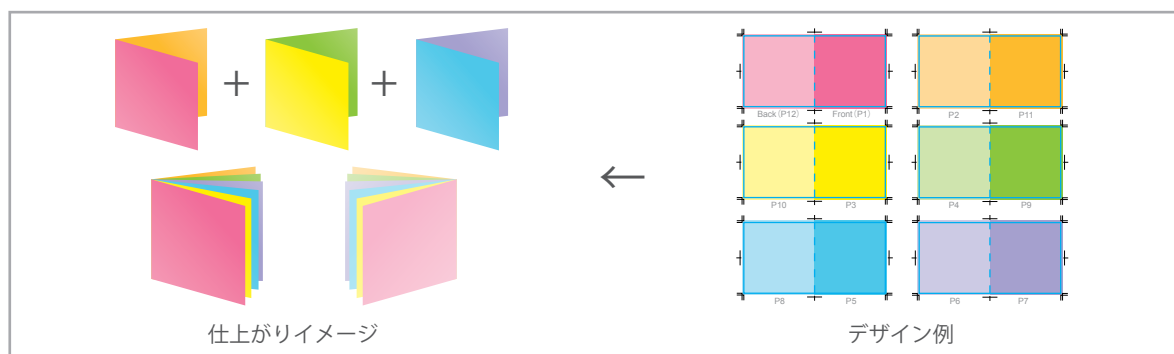
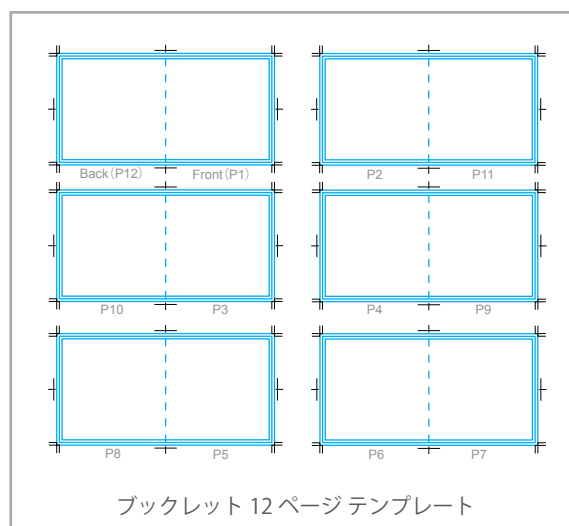


ブックレット 12 ページ

ブックレット 12 ページは 2 ページ分の大きさの長方形の紙を二つ折りにしたものを、3 枚中綴じしたブックレットです。先述のブックレット 4 ページ 3 枚分を中綴じした仕様です。

1 枚目は Back (P12) - Front (P1) と、その裏面が P2 - P11 になります。2 枚目は P10 - P3 と、その裏面が P4 - P9 になります。3 枚目は P8 - P5 と、その裏面が P6 - P7 になります。

弊社テンプレート上には、対となる P12 - P1 と P2 - P11、P10 - P3 と P4 - P9、P8 - P5 と P6 - P7 に分けて表示しておりますので、それぞれのページをデザインしてください。

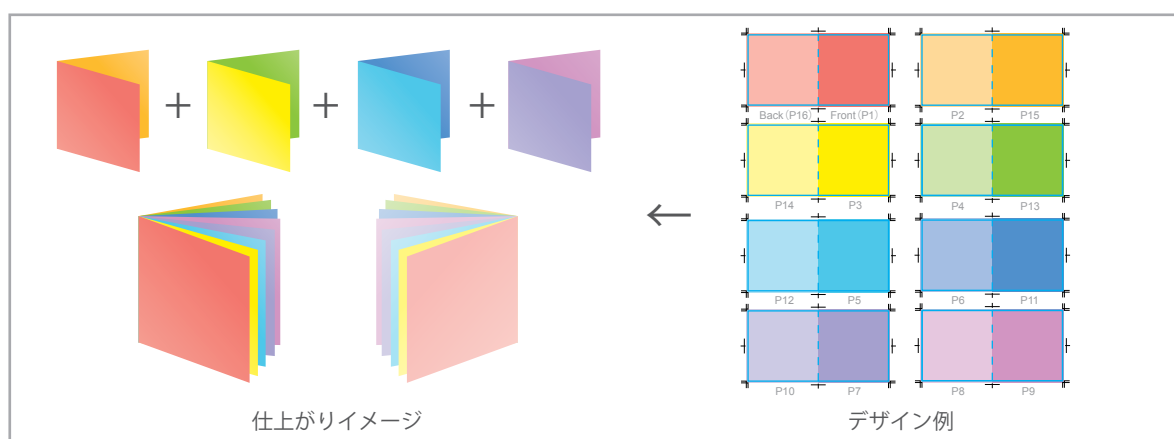
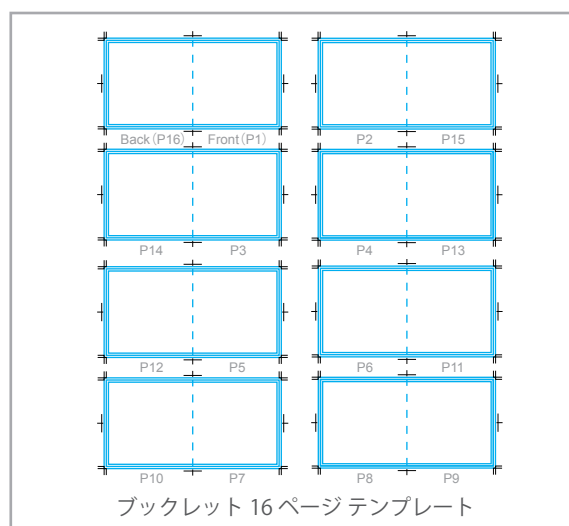


ブックレット 16 ページ

ブックレット 16 ページは 2 ページ分の大きさの長方形の紙を二つ折りにしたものを、4 枚中綴じしたブックレットです。先述のブックレット 4 ページ 4 枚分を中綴じした仕様です。

1 枚目は Back (P16) - Front (P1) と、その裏面が P2 - P15 になります。2 枚目は P14 - P3 と、その裏面が P4 - P13 になります。3 枚目は P12 - P5 と、その裏面が P6 - P11 になります。4 枚目は P10 - P7 と、その裏面が P8 - P9 になります。

弊社テンプレート上には、対となる P16 - P1 と P2 - P15、P14 - P3 と P4 - P13、P12 - P5 と P6 - P11、P10 - P7 と P8 - P9 に分けて表示しておりますので、それぞれのページをデザインしてください。



データ入稿前の必須チェック項目

デザインのデータ作成が完了しましたら、ご入稿前に注意事項のチェックをお願い致します。

-  テンプレートはご希望の商品のものを正しく使用されていますか？ ☐
▶ P3 [テンプレートの共通注意点] を参照
-  ヌリタシは充分につけられていますか？ ☐
▶ P3 [テンプレートの共通注意点] を参照
-  文字配置範囲は守られていますか？ ☐
▶ P3 [テンプレートの共通注意点] を参照
-  カラーモードはCMYKになっていますか？ ☐
▶ RGB では × です P4 [テンプレートの共通注意点] を参照
-  文字フォントのアウトライン化は済んでいますか？ ☐
▶ フォントのままだと文字化けのおそれがあります P4 [文字フォントについて] を参照
-  小さすぎる文字や細すぎる線はありませんか？ ☐
▶ 細かな文字や線は正しく印刷されません P4 [文字や線の大きさについて] を参照
-  配置画像の解像度は十分に保たれていますか？ ☐
▶ 解像度は低すぎても高すぎても × P5 [配置画像の解像度 (dpi) について] を参照
-  配置画像の埋め込みはされていますか？ ☐
▶ リンク切れを防ぐためです P5 [配置画像の解像度 (dpi) について] を参照
-  透明や変形などの特殊効果は正しく設定されていますか？ ☐
▶ P5 [透明や変形など特殊効果を設定されたオブジェクトについて] を参照
-  CMYK の総量が 250%を超えるオブジェクトはありませんか？ ☐
▶ P6 [黒 (ブラック・K) の配色について] を参照
-  オーバープリントが設定されているオブジェクトはありませんか？ ☐
▶ P7 [オーバープリントについて] を参照
-  保存されたファイル名は半角英数字にされていますか？ ☐
▶ P7 [保存ファイルの名称について] を参照
-  ディスクの印刷方法と白ベタの選択はされていますか？ ☐
▶ P8 [「オフセット印刷」と「シルク印刷」の違い] [「白ベタ」の選択] を参照
-  シルク印刷の色数は白を含む 4 色になっていますか？ ☐
▶ P8 [「オフセット印刷」と「シルク印刷」の違い] [「白ベタ」の選択] を参照